

令和5年度 垂水小学校 学校経営方針

1 経営の基底

日本国憲法や諸法規の定めに従い公教育の理念に則り、人権尊重の精神のもと、県及び市の教育方針や重点施策に基づき、児童や地域の実態を踏まえ、知・徳・体の調和の取れた「生きる力」を身に付けた人間性豊かな児童を育成する。

2 学校教育目標

ふるさと垂水を大切にし、未来の創り手となる資質・能力を身に付けた児童の育成

【校訓】		
めざす	がんばる	やりとげる
目指す児童像	目指す児童像	目指す児童像
自分のよさや可能性に気付 き、身に付けた資質・能力 を生かそうとする児童	自分で考え判断したり、他 者と協力したりして、より よい課題解決を目指す児童	夢や目標に向かって、最後 まであきらめずに粘り強く 取り組む児童
「キャッチフレーズ」 自分になれる、最高の自分になるう！		

3 基本方針

- (1) 豊かな感性や創造性を育むとともに、「知」「徳」「体」の調和のとれた育成を目指し、一人一人の児童を尊重し、その持っている力を最大限伸ばす。
- (2) 児童に生きる力を育むために、基礎的・基本的な「知識・技能」を確実に習得させるとともに、未知の状況にも対応できる「思考力・判断力・表現力等」、学びを人生や社会に生かそうとする「学びに向かう力・人間性等」を育成する。
- (3) 生命尊重、人権尊重を基調とする心の教育を推進するとともに、積極的な生徒指導を行う。
- (4) 学習指導要領の趣旨を踏まえた教育課程の編成と実施にあたり、主体的・対話的で深い学びのできる授業づくりを行う。
- (5) 創立155周年を迎える長い歴史と伝統を創造的に継承しながら、本校児童の実態と地域社会の特性に立ち、家庭・地域との連携を深めながら郷土の伝統・文化を尊重し、地域に開かれた教育、特色ある教育活動を推進する。
- (6) 校務の改善や精選に努めるとともに、全ての教職員が自らの資質向上を図り相互に親和協力し、教育目標の具現化に向けて一体的な取組を進め、活力ある学校を作る。

4 重点努力目標及び具体策

(1) **学力をつける学校**（学習の質を高めるため、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善の取組を活性化し、児童に目指す資質・能力を育む）

ア 基礎学力の確実な定着

- ・ 学力調査等の良問を活用した学習内容の定着（たるたるタイムの改善）
- ・ 授業のユニバーサルデザイン化
- ・ 言語活動の充実（思考力・判断力・表現力の育成）
- ・ 学力向上対策委員会の設置と機能化
- ・ 教科担任制の推進

イ 垂水市GIGAスクール構想による「個別最適な学び」、「協働的な学び」の実現

- ・ 端末持ち帰りによる課題学習の工夫とAIドリルの活用による基礎基本の徹底
- ・ ICT機器を活用した「個別最適な学び」、「協働的な学び」の授業づくり

ウ 校内研究の充実（「分かる喜び」「考える楽しさ」を実感できる授業づくり）

- ・ 授業実践を通じた研究と指導力向上（共通実践事項の徹底）

エ 学び続ける教師としての取組

- ・ 各種研修会等への参加、個人研究、実践記録への取組等

オ 家庭学習の充実

- ・ 家庭学習の手引きの実践、家庭学習強調週間の取組の充実

(2) 楽しい学校 (学校生活が有意義なものとなるように、個々の児童の発達や課題に応じた指導の充実に努める)

- ア 児童理解を深め、人権尊重の態度と実践力を育てる生徒指導の充実
 - ・ 児童のよさを認め、伸ばす、スクールワイドPBS (積極的行動支援) の取組
 - ・ 「心と学びの振り返りシステム (スクールライフノート)」活用の日常化
 - ・ 「よい子のきまり」、当たり前3か条「あいさつ 返事 後始末」の実行
- イ 特別な配慮を必要とする児童についての理解と支援
 - ・ 校内委員会の計画的運営及び適切な就学指導、個別の指導計画の作成と引継
 - ・ 教職員の共通理解に基づく校内支援体制の確立
 - ・ 自立活動の充実
- ウ 特別活動を要としたキャリア教育の充実
 - ・ キャリアパスポート等を活用した学級活動の工夫
- エ 問題行動の早期発見と迅速・組織的な対応
 - ・ ふれあいトークや教育相談の充実
 - ・ スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等との連携
- オ 心の教育の充実
 - ・ ボランティア活動や音楽教育活動等の充実

(3) 健康・安全な学校 (教育的・美的・健康的な環境づくりと気力・体力の向上に努める)

- ア 体力向上への取り組み
 - ・ 意欲的な体力づくりの励行
- イ 健康教育の推進
 - ・ 感染症予防を含む、基本的な生活習慣の確立
 - ・ 食育の充実 (栄養指導)
 - ・ 虫歯治療の向上と歯磨き指導の徹底
 - ・ 家庭、PTA、学校保健委員会との連携 (早寝・早起き・朝ご飯)
- ウ 安全に関する指導の徹底
 - ・ 交通教室、避難訓練等の計画的実施
 - ・ 校内、校外の危険箇所の点検と指導
- エ 整理整頓、整備された校内環境の維持
 - ・ 清掃活動の充実 (掃除の仕方の徹底、リーダーの育成)
 - ・ 教児同行による清掃指導

(4) 要望に応える学校 (児童や保護者、地域の実態を適切に把握し、本校教育活動の改善・充実の好循環を生み出すカリキュラムマネジメントの実現を目指す)

- ア 外に開かれた学校づくり
 - ・ 学校運営協議会 (コミュニティスクール) の開催
 - ・ 積極的な情報発信 (学校だより、保健だより、HP、新聞投稿など)
- イ 教育課程に関する課題の明確化と次年度への円滑な接続
 - ・ 自己評価、学校関係者評価、児童・保護者アンケートの工夫・改善と活用
- ウ 教科等間のつながりや地域 (ふるさと垂水) を意識した教育内容の編成及び充実
 - ・ 教科横断的な視点による教科等間の指導の関連付け (生活科、総合など)
- エ 業務改善の推進
 - ・ 計画的・効率的な業務遂行
 - ・ 持ち帰り業務の把握による学校行事の精選や改善、教育課程への反映
- オ PTA活動の工夫・改善
 - ・ PTA会員相互の親睦を図り、達成感を感じることができるPTA活動の工夫